

(くらし・環境部所管事業)

単位(事業費): 百万円

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業概要			事後評価理由	対応方針(案)及び理由		同種事業への反映等 (今後に活かすべき知見、活用の方向性)	代表説明箇所の選定 選定の視点					特記事項	担当課			
					事業費	事業期間	施設の利用状況や被害軽減効果等		対応方針(案)	理由		1事業のみ	①今後の参考	②計画変更等	③効果発現	選定結果					
																			上段: 計画(当初(事業採択時)または前回(最終再評価時))		
																			中段: 実績(事業完了時=事後)		
下段: 計画と実績の差																					
1	静岡県	公営住宅等整備事業	けんりくあふたあふべつら、だ 県営住宅安倍口団 んちてかあせいびじょう 地建替整備事業	静岡市 葵区	1,659	H28~R1	H24~28 5カ年平均 建替住棟の空家率 12.7% (2,3,6,7号棟)	B/C: - EIRR: -	事業完了 後 5年経過	事業効果は十分に 発現しており、改善措置の 必要はない。 ・空家率が5%未満であり、評価内容も概ね良 好な結果を得られている。	・今後の高齢化の進展、人口減少といった社会情勢の変化に対応した 建替整備に努める。 ・施設のユニバーサルデザイン化を進め、全ての人が利用しやすい住 宅の整備に努める。 ・多様な世帯構成に対応できるような型別の住宅供給を推進する。 ・災害対策や防犯性の向上など、安全・安心の確保に努める。 ・地域景観やコミュニティ形成の向上に配慮した住宅の整備に努め る。 ・脱炭素社会の実現に向け、環境に配慮した住宅の整備に努める。	-	-	-	-	◎	国 45% 県 55%	公営住宅課			
					1,563	H28~R1	R2~6 5カ年平均 建替住棟の空家率 0.4% (A,B棟)														
					△96百万円 (約6%減)	事業期間に 変更無	空家率が改善され、計画どおりの効果を発揮														

(経済産業部所管事業)

単位(事業費): 百万円

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業概要			事後評価理由	対応方針(案)及び理由		同種事業への反映等 (今後に活かすべき知見、活用の方向性)	代表説明箇所の選定 選定の視点					特記事項	担当課			
					事業費	事業期間	施設の利用状況や被害軽減効果等		対応方針(案)	理由		1事業のみ	①今後の参考	②計画変更等	③効果発現	選定結果					
																			上段: 計画(当初(事業採択時)または前回(最終再評価時))		
																			中段: 実績(事業完了時=事後)		
下段: 計画と実績の差																					
2	静岡県	農業農村整備事業	つとむ 合戸	御前崎市	1,184	H22~H26	湛水被害軽減効果 農地 19.6ha→0ha 農道 4,375m→0m 水路 1,724m→0m 家屋 家屋半壊 2戸→0戸	B/C: 3.8 EIRR: -	事業完了 後 5年経過	事業効果は十分に 発現しており、改善措置の 必要はない。 ・事業完成後、計画降雨と同程度の豪雨に対し て被害の発生はなく営農や生活環境も向上して いることから、事業効果は十分発揮されてい る。	・本県では、激甚化・頻発化する自然災害に対し、施設管理者等の操 作労力の軽減や安全性の確保を図るため、遠隔による集中監視・制御 等ができるよう農業用排水施設の機能強化を推進している。 ・本事業で整備した緊急遮断装置や遠隔監視カメラによる操作労力の 軽減や操作時の安全性の確保などの効果や運用に関する課題を検証 し、今後の同種事業へ反映していく。	-	○	-	-	◎	国 50% 県 40% 地元10%	農地保全課			
					1,020	H22~H30	湛水被害軽減効果 R5.10.4豪雨 被害なし														
					▲164百万円 (14%減)	4年延長 (80%増)	計画通りの効果を発揮														
3	静岡県	農業農村整備事業	たかひらこやがたかほ 高根西部塚原	御殿場市	1,323	H21~H26	水稻のha当たりの年間営農時間 699時間/ha・年 水稻粗収益 4,304千円/年 営農面積 802a	B/C: 1.3 EIRR: -	事業完了 後 5年経過	事業効果は十分に 発現しており、改善措置の 必要はない。 ・区画整理、農道、用排水路の整備により生産 量、品質が安定するとともに、営農労力の節減 が図られたため、地区内及び周辺地域の中心的 経営体への集積が進み、経営規模が拡大した。	・本地域では、担い手への集積促進、地域による農地の維持管理保 全、高収益作物の栽培等の事業効果が得られた。 ・北駿地域のほ場整備実施地区においても、水田の大区画化や汎用化 を図りつつ、ICTを活用した営農管理の省力化を図るなど、効率的かつ 効果的な整備を推進していく。	-	-	-	-	◎	国 50% 県 30% 地元20%	農地整備課			
					1,726	H21~H30	水稻のha当たりの年間営農時間 430時間/ha・年 水稻粗収益 7,592千円/年 営農面積 1,415a														
					+403百万円 (30%増)	4年延長 (67%増)	水稻の営農時間の減 269時間/ha・年減(38%減) 水稻粗収益の増 3,288千円/年増(76%増) 営農面積の増 613a増(76%増)														

(交通基盤部所管事業)

単位(事業費): 百万円

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業概要			事後評価理由	対応方針(案)及び理由		同種事業への反映等 (今後に活かすべき知見、活用の方向性)	代表説明箇所の選定 選定の視点					特記事項	担当課			
					事業費	事業期間	施設の利用状況や被害軽減効果等		対応方針(案)	理由		1事業のみ	①今後の参考	②計画変更等	③効果発現	選定結果					
																			上段: 計画(当初(事業採択時)または前回(最終再評価時))		
																			中段: 実績(事業完了時=事後)		
下段: 計画と実績の差																					
4	静岡県	海岸環境整備事業	はらばらこうかいがもすなみく 横浜港海岸静波地 区	牧之原市	841	H14~H30	海岸利用者の憩いの場としての機能と、津波来襲時に 海岸利用者が防波堤背後に素早く避難できる機能とを 兼ね備えた施設整備による利便性向上	B/C: 6.2 EIRR: -	事業完了 後 5年経過	事業効果は十分に 発現しており、改善措置の必要はない。 ・突堤は、平成14~17年度までに暫定整備が完了し、 平成17~21年度に効果検証を行った結果、砂利浜化が 進む以前の状態に戻りつつあることが確認された。現 在も計画観察を継続しており、再度砂利浜化するよう なことは起こっていない。 ・平常時から海岸利用者の憩いの場となっており、イ ベントや聖火リレーの式典会場等にもなり、多様な利 活用がされている。 ・上記から本事業は十分に効果を発揮している。	・同種事業においても、適宜見直しを行い時代のニーズに沿った施設 整備を推進していく。	○	-	-	-	◎	国50% 県50%	港湾整備課			
					823	H14~H29	平成23年度に258千人だった海水浴客が平成30年には 318千人まで回復														
					▲17.6百万円 (2.1%減)	1年短縮 (5.9%減)	計画どおりの効果を発揮														